

## 調査結果報告書

### I はじめに

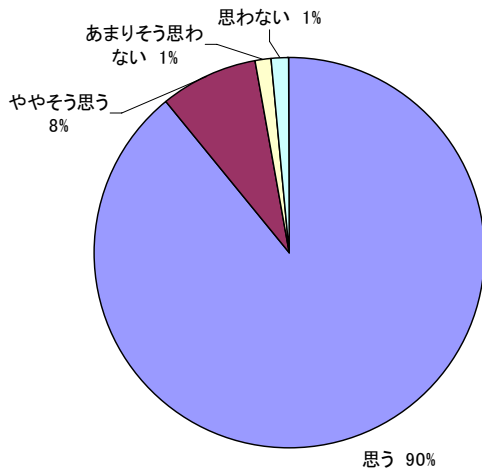
鳥取市の中心市街地商店街活性化は、政策を導入するなどして散発的に取り組まれているものの、全体的な成果は上がっていない。専門家や行政などまちづくりや活性化に関わる人々から「事業主はやる気がない」という批判の声も聞かれる。しかし事業主の意識を活性化したいか、したくないか、という次元で捉えている調査はあるものの、どのような属性の人々によってそのような意識が構成されているのか、を調査したものはない。そこで、人々に語られる意識の背景を明らかにする必要があると考え、本調査を実施した。本調査から得られた結果に基づいた分析・提言は TORC レポート 26 号に掲載したので参照いただきたい。本報告書は、レポートを補完するものとしてアンケート調査の結果を提示するのみとする。

### II 調査概要

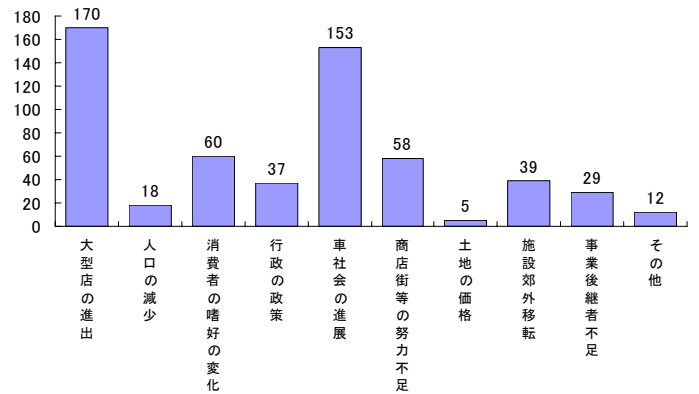
- 《調査方法》 質問票によるアンケート調査  
配布：各商店街振興組合事務局に依頼 回収：郵送  
※調査票は巻末添付
- 《サンプル数》 市内 10 商店街振興組合 約 400 組合員（事業主）  
※サンプル抽出にあたっては、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県商店街振興組合連合会の協力を得た
- 《回収率》 52.5%
- 《実施時期》 平成 18 年 1 月

### III 調査結果

問1. あなたは中心市街地は衰退したと思いますか？ (n=212 SA)

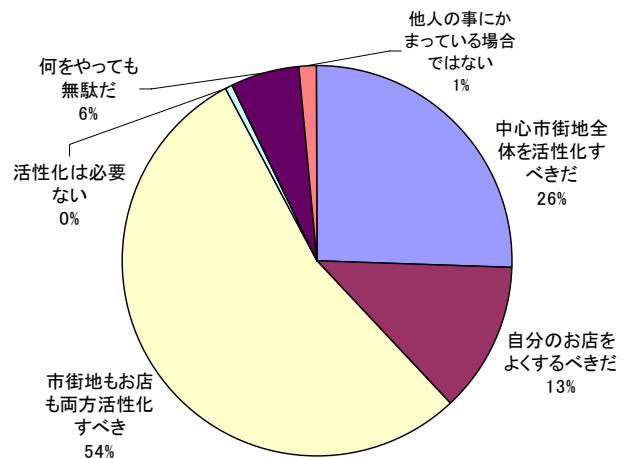
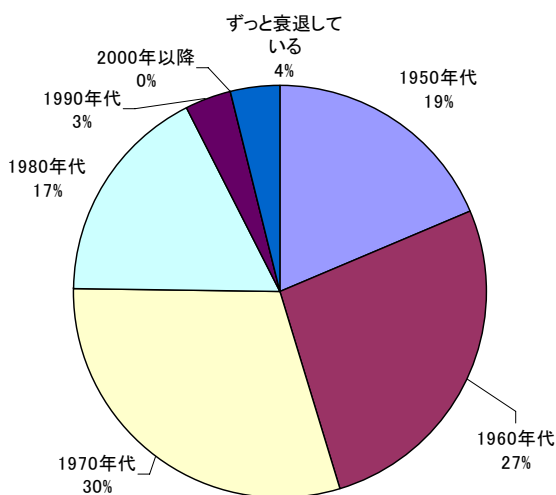


問1B 問1で、「思う」「ややそう思う」と答えた方にお聞きします。中心市街地の衰退の主な原因に当てはまると思うもの3つに○をつけてください。(MA)

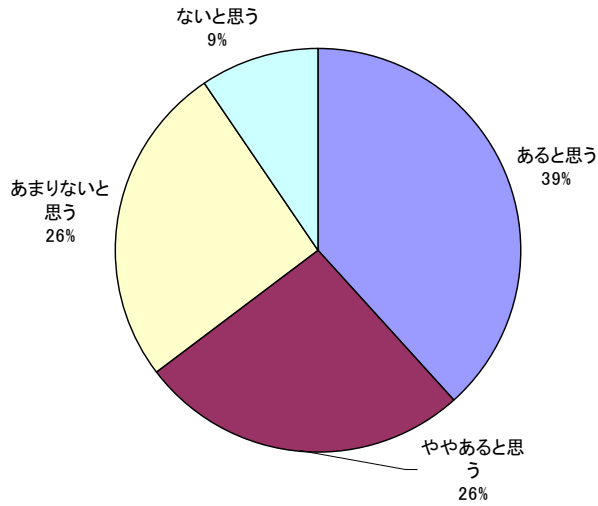


問2. あなたは中心市街地や個々の店舗についてどのようなお考えですか？ (n=207 SA)

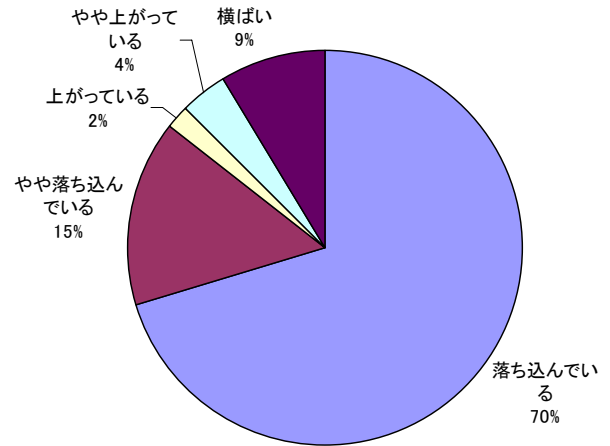
問1A 問1で、「思う」「ややそう思う」と答えた方にお聞きします。中心市街地がもっとも繁栄したと思われるのはいつ頃ですか？ (n=203 SA)



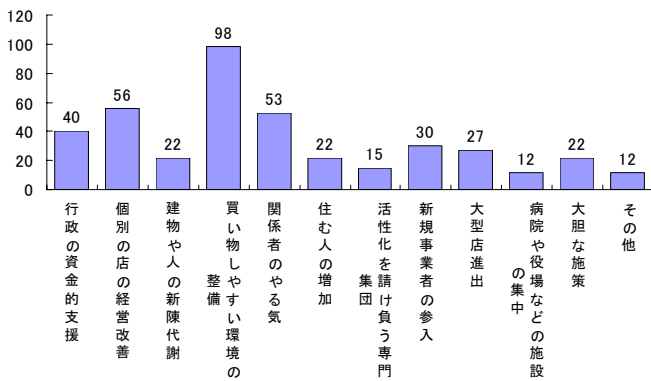
問3. 中心市街地を活性化するためにあなたにできることはありますか？ (n=204 SA)



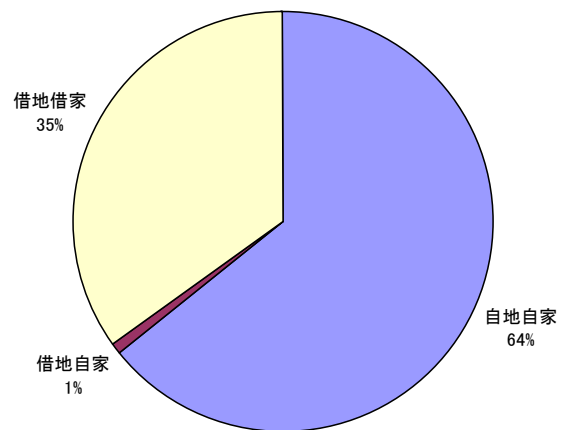
問5. お店の売り上げについてお聞きします。ここ10年ほどの動向を以下の選択肢から1つ選んで○をつけてください。(n=206 SA)



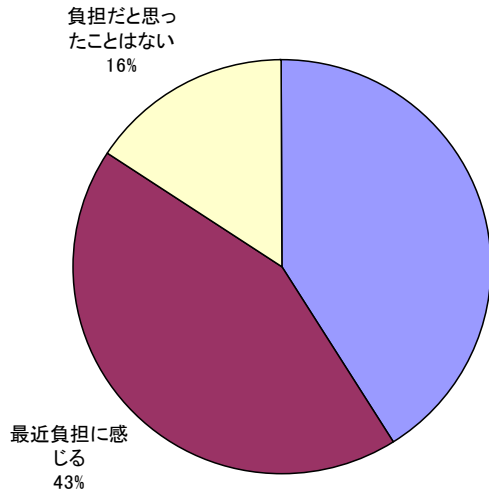
問4. あなたは中心市街地を活性化するには何が重要だと思いますか？ (MA)



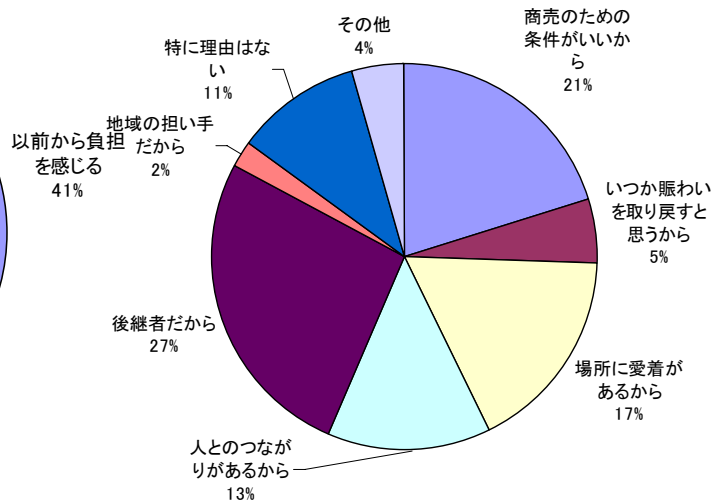
問6. お店を営んでいる土地（店舗）の所有形態についてお聞きします。(n=212 SA)



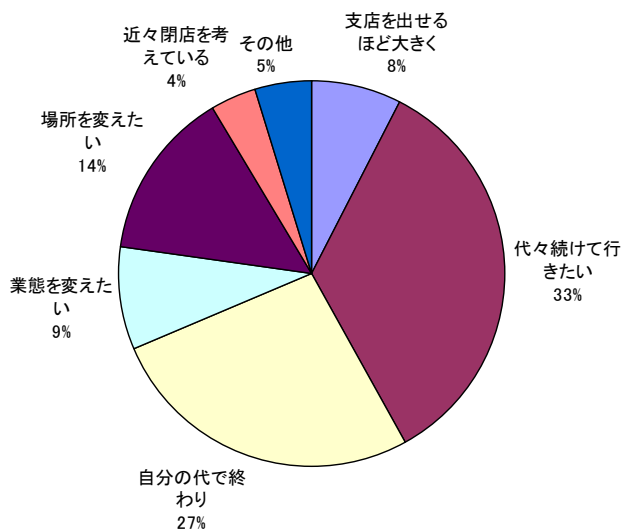
問7. お店にかかる費用（固定資産税、地代・家賃）について負担感はありますか？  
(n=207 SA)



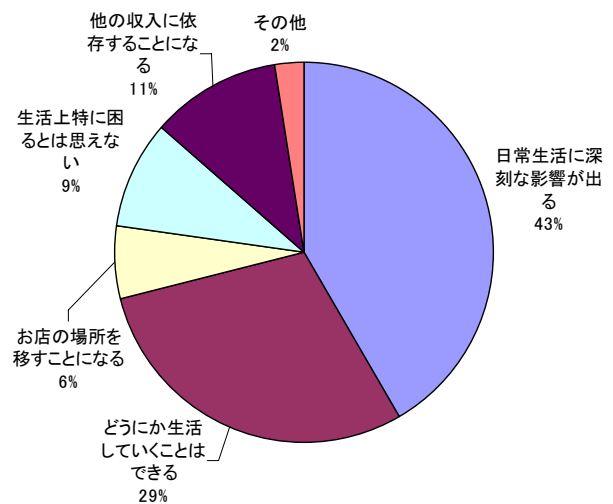
問9. 現在の場所にお店を出している理由はどのようなものですか？（過去の出店のきっかけではなくて現在の理由をお書きください。） (n=208 SA)



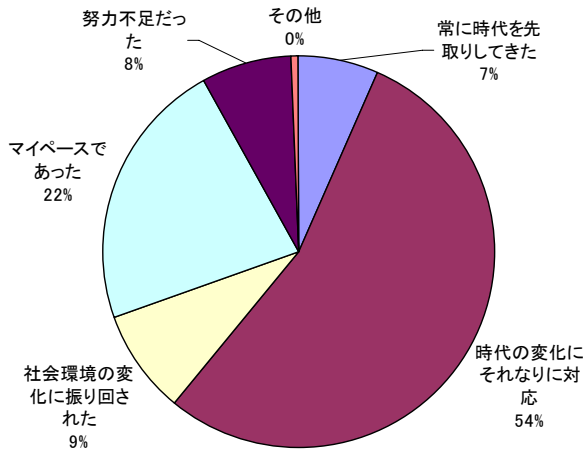
問8. お店の将来についてのお考えは次のうちどれですか？ (n=210 SA)



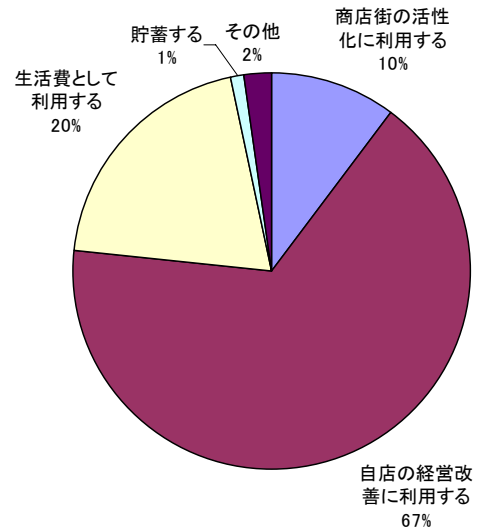
問10. 現在の売り上げの状況が続くと、商売や生活に関してどのような将来予測となりますか。 (n=207 SA)



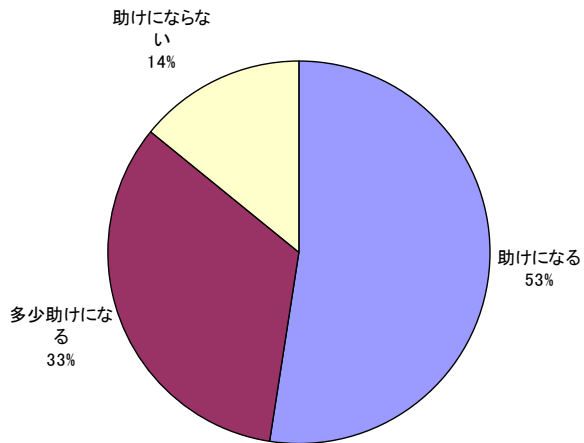
問 11. あなたはこれまでの商売を振り返って  
どのようにお考えになりますか？  
(n=208 SA)



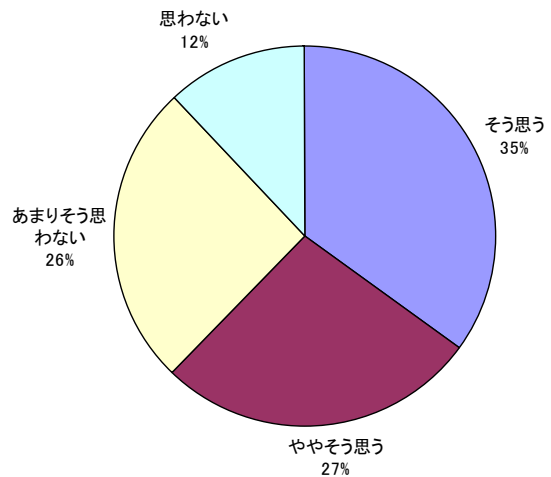
問 12A 問 12 で、「助けになる」「多少助けになる」と答えた方にお聞きします。  
軽減された分はどのように利用すると思えますか？ (n=175 SA)



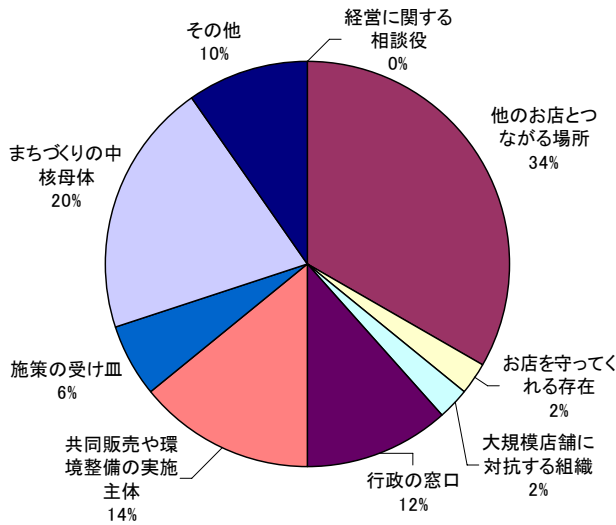
問 12. あなたは、中心市街地の固定資産税が  
軽減されるとしたら、経営の助けになると  
思えますか。(n=204 SA)



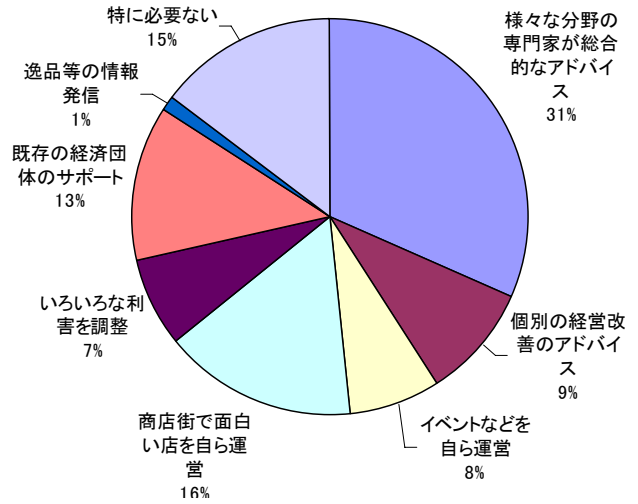
問 13. あなたは商店街振興（協同）組合は今  
後ともなくてはならないものだと思いますか？  
(n=175 SA)



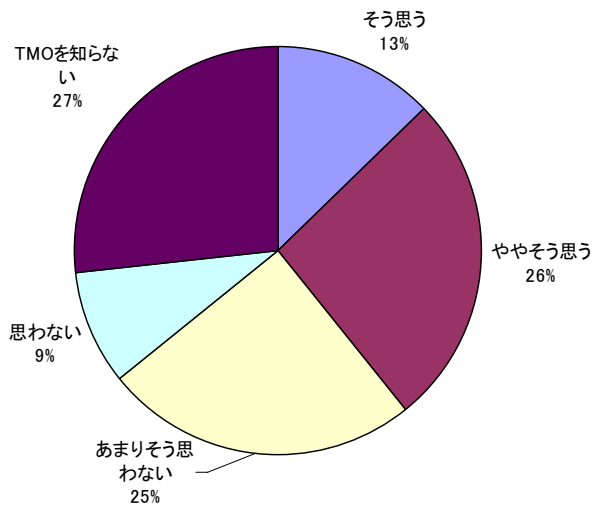
問 14. あなたにとって商店街振興（協同）組合はどのような意味がありますか？  
(n=204 SA)



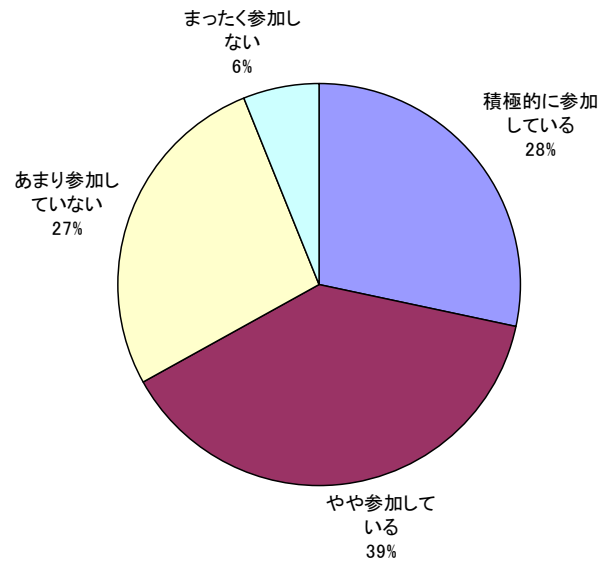
問 16. あなたは中心市街地の活性化をすすめるにはどのような専門的集団が必要だと思いますか？ (n=196 SA)



問 15. あなたは TMO は必要だと思いますか？  
(n=196 SA)

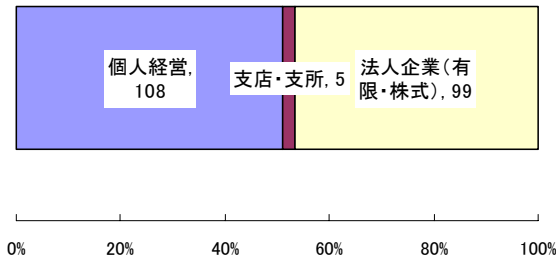


問 17. お店を出されている地域で、地域活動やイベントなどに参加していますか？ (n=209 SA)

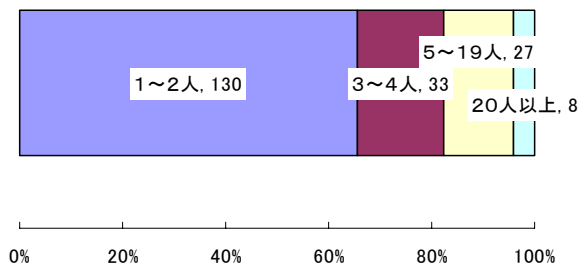


問 18. 経営者もしくは店長等の実運営者の方にお聞きします。(あてはまるもの1つに〇をつけてください)

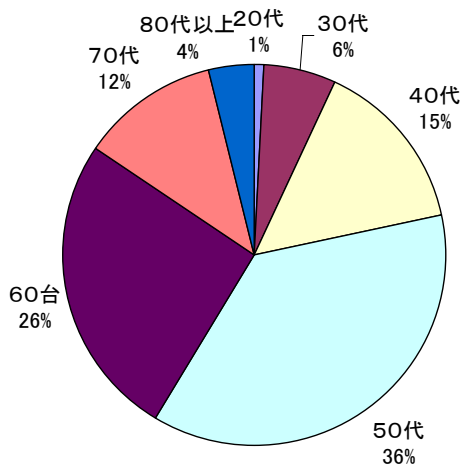
(1) お店の経営形態は次のうちどれですか (n=212)



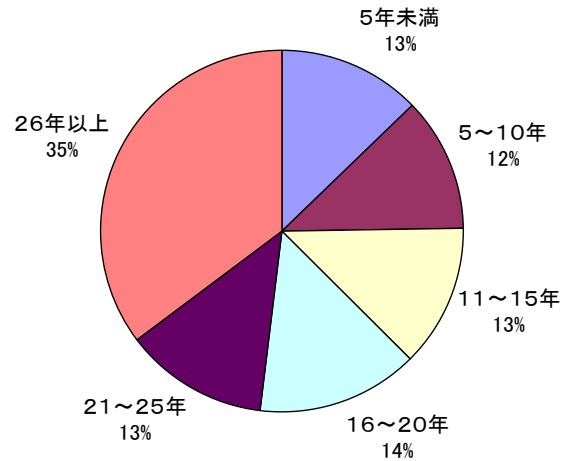
(2) 従業員は何人ですか (ただし、役員、家族従業員、パート、アルバイトを除く) (n=198)



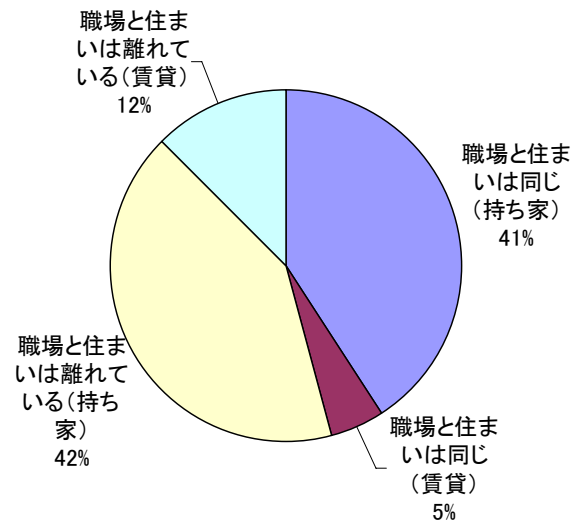
(3) あなたの年齢は次のうちどれですか (n=212)



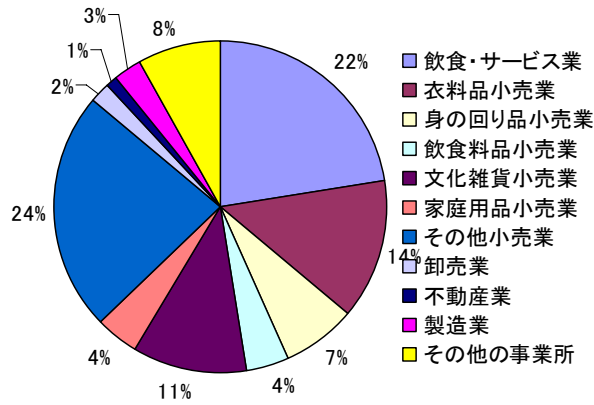
(4) あなたは経営者もしくは店長等の実運営者となってからのどのくらいになりますか (n=210)



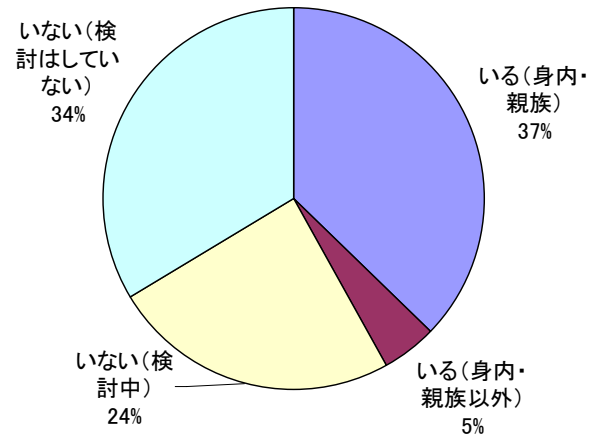
(5) あなたの住まいとお店(職場)は次のうちどれに当てはまりますか (n=210)



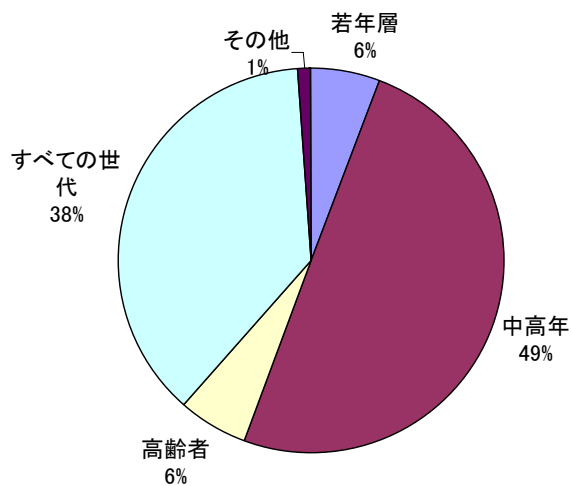
(6) お店の業種は以下のうちどれですか (n=210)



(7) お店の後継者はいますか (60歳代以上の方のみお答えください) (n=86)

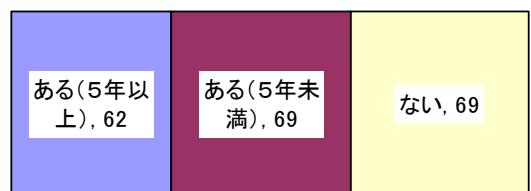


※対象とする顧客層は次のうちどれですか (飲食・サービス業、小売業の方のみ) (n=173)



(8) あなた (あるいは後継者の方) は都市圏 (東京・大阪など) での生活経験はありますか

事業主 (n=200)



0% 20% 40% 60% 80% 100%

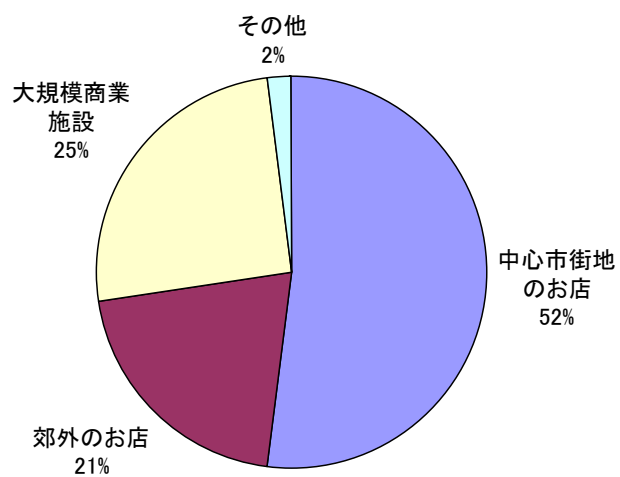
後継者 (n=40)



0% 20% 40% 60% 80% 100%



(9) あなたの家庭で主に買い物をする場所  
で最も多いのは以下のうちどれですか  
(n=208)



問 19. 市街地の活性化（もしくは TMO）についてご意見がございましたら、お書きください。

- ・ 大規模商業施設を許可しながら市街地の活性化を求めるのは行政の相反する施策である。利便性、価格の点)
- ・ やる気、本気、元気 三つをそろった新人類の集団を作る
- ・ 魅力ある商品の郊外進出とともに衰退した。
- ・ 無料の駐車場があれば、まだお客様はきてくれると思う。
- ・ 商店街というものは、人がすんでいるその周りに必要な存在なのではないでしょうか。今郊外に住み、大型店で買い物をしている方々が、年を取り車で動けなくなったら、どうなるのでしょうか。
- ・ ①町の中心に人が集まるように②高齢化社会になるにつれ、歩いて買物が出来、楽しめる町づくり③スーパーにない味のある商品を置く店づくり
- ・ 個人店のみの努力では限界もあり、イベントを多く計画し、人を集める努力が必要。毎月〇日は[日曜]イベントを行う。市、フリマ、パフォーマンス集団の参加[小額でも無料でも参加の集団もあると思う]市の時には各店がバーゲンの準備、フリマは出店料を小額でも集める。
- ・ 駅の緑地帯を駐車場にして頂きたい。駐車台数の増加を図るべきである。
- ・ 郊外型の大型店舗は日本になじまない。無駄が多い。
- ・ 末広町、協同組合は過去数年イベント等の行事が全くありません。
- ・ 中・長期的な展望でのことを考えて欲しい。
- ・ 犬のフン、おしっこに困っている。まずはきれいな商店街に努力して欲しい。(明るいアーケード街は夕方から夜は犬と人の散歩道)
- ・ 市街地衰退化のアンケートでなくて、発展策についてのアンケートを考えて欲しい。そのためにもまず各商店街に最低一つずつの公営駐車場を設置するパブリックスペースを設けること。
- ・ ゲゲゲの鬼太郎のようなインパクトのある町づくりをしないと二度と町へは帰ってこない。
- ・ もっと地域を歩いて商店街の現状を絶えず把握してください。
- ・ 固い頭での意見ばかりじゃなく、田舎を都会にする必要もなく、店の人の責任でもなく、街がさみしい。
- ・ 今のままでは何の解決にもならない。個人レベルではどうしようもないところまできている。行政を巻き込んでやらないとゴーストタウンになる。
- ・ 実態をよく把握して施策・金銭面でも有効な方策となるよう企画実践してもらいたい。的を得ていない。
- ・ 100円バスが全く通らないのでぜひ本通や若桜街道にも通してください。
- ・ 空き店舗を借りようとしても高い家賃を要求される。ところが高い家賃が支払えるほど売り上げは上がらない。従って空き店舗のままでシャッター通りになっている。
- ・ 机上でアンケートを集約してとやかく言ってもいまさら何も解決しない。無駄なことを重ねる必要はナンセンス。
- ・ 住める場所が欲しいです。

- ・ 瓦町付近を整備し、車両の流れをスムーズにし、駐車場を整備してもらいたい。
- ・ 姫鳥線の開通は、ファッション性・高級品の商品顧客を一気に阪神に持っていかれる恐れがあります。コンパクトな商店街の再生も視野に。
- ・ どうしたらよいのかわからない。
- ・ 鳥取市長が、市民・商店街のことを身をもって考えていてくれない。
- ・ 固定資産税（中心市街地）下げ（極端に）そこに住みたくなる程、出店したくなる程、たら流れが変わる。取りやすいところから取る今までのやり方はダメ。路線価は相続税にも関連し後継に影響。
- ・ 駅周辺の駐車場を完備してほしい。（一部高すぎる）長期滞在できる価格設定を。
- ・ 若桜街道、本通り、智頭街道を一方通行に。
- ・ 車で来店できるように、店の前を買い物時駐車できるようにする
- ・ イベントも数年間同じことばかりで、人が出てこない。目新しいイベント等を考えながら行えばいい。（例えば、初夢ロードの時、川を発行ダイオードのイルミネーションで飾るなど。）
- ・ 核店舗の誘致、交通アクセス整備
- ・ 色々な業種の人と頻繁に連絡が取れる、ネットワークのある人を介して情報提供をして、色々な情報を集め、イベント等に役立てること。
- ・ 夜、安心してウォーキングできる特性を生かし、スニーカー通り、健康増進通りとして活用してみてもは？
- ・ 個店の努力が前提。プラス個店の自覚。
- ・ 活性化のこのようなアンケートは今後もっと必要だと思う。
- ・ 駐車場がないので不便だとよく言われる。店の前にせめて 30 分位止めてもいいようにしてもらいたい。
- ・ たいへん大きくて難しい事業だと思う。でも笑顔で楽しみながらすすめてほしいと願っている。
- ・ 人の裸で相撲を取るのではなく、身銭を切る 身も心も金も動かせるリーダーシップを取る方が鳥取には一番必要だと思います。良い人脈を通し良い人材を集めてください。
- ・ スケールメリットは必要なのでは。行政は土地利用がうまくできるような環境を整えて欲しい。
- ・ 米子よりは鳥取はまだ活性化している。しかし、行政・官公庁へ出向き外売りが多く見られる。自家販売に努力すべきである。空き店舗が多い。
- ・ 他団体との連携などを図り、イベントなどを増やして欲しい。
- ・ 最近 TMO の活動が増えてきていますが、今後も積極的な活動を期待しています。
- ・ TMO は、もっとおせっかいなほどに動いてほしい。
- ・ TMO のイベントは、人は多いが商店街や個店に影響が少ない。地に足がついていない気がする。
- ・ TMO は、中心市街地の活性化について、より現場を知ることが必要。現実に即した行動計画、企画推進を進めてほしい。
- ・ TMO の能力が重要です。

- ・ PR 不足だと思う。もっと大規模な発想が必要だ。
- ・ 若桜街道、鳥取本通りを主体に見本を示してください。
- ・ TMO をよく知りません。
- ・ TMO として市街地をどのようにしたいのか、大型店との共存など、独自のまちづくりが必要。
- ・ 固定資産税の軽減は空き店舗対策としてもぜひ実行して欲しい。郊外大型店の税率アップでバランスを取る。商店主は店の2階、または近場で生活をし、買い物する。役所の人間は地元で買い物を(地産地消)。TMO の活動はもっと現場感覚で(現場主義)。
- ・ 商店だけでなく、クリエイター的な人材を育成する長屋のような空き店舗の活用。それを運営・管理・サポートする人材は TMO や会議所の役割だと思う。

#### IV 調査を振り返って

おそらく、完璧な社会調査というものはないと思われるが、今回の調査も至らぬ点ばかりであった。回収率が 50%以上の調査は昨今なかなか難しい。だからといってボリュームの多い調査票を作成してなんでもかんでも聞けばよいかといえそうではない。これまで鳥取市で行われたアンケート調査はそれほどボリュームのあるものが少なく、回答者負担が少なかった可能性もあるからだ。いずれにしても無事に調査を終えて、結果を示せたことは幸いであった。結果から何が言えるか、と問われれば、高齢の方ほどネガティブな方向に考えやすいようだ、という答えになろう。しかし商店街の歴史の変遷なども含めた一連の調査から言えるのは、鳥取は周囲が気がつかないほど長く緩やかな衰退の過程にあるということだ。こういった場合、大型店の出店など耳目を集める出来事によって商店街に注目が集まると、急激に衰退している印象を持つこともあるだろう。長く緩やかな衰退と急激な衰退はその要因も対処法も異なるものである。そして、活性化のために必要な人材や資源は限られているという現状を踏まえるならば、そこで重要なことは、当事者も行政も市民もこの事実をしっかり認識することであり、そこに立って鳥取の商店街について議論していくことである。

さて、完成した調査票は不細工なものであったが、周囲の方々の協力を得て無事に実施することができた。中でも、右も左も分からない状態であった私を適切に導いていただいた中央会の福美氏には感謝の言葉もないほどである。また私の素性が分からないにもかかわらず、全面的な協力をしていただいた商店街振興組合連合会や事務局の方々にも助けていただいた。個人的にはこのようなよそ者を受け入れる温かい余地が十分にある商店街は、まだまだ発展の可能性があるように思えてならない。

※本報告書のデータを無断で使用することを禁ずる